第８講　鎌倉時代Ⅱ

1　元寇と鎌倉幕府の衰退

①蒙古襲来〔元寇〕

A　**モンゴル帝国**

13世紀初め，**チンギス＝ハン**〔成吉思汗〕が**蒙古**〔**モンゴル**〕**民族**を統合して中央アジアから南ロシアまでを征服。

☆1234年，２代皇帝オゴタイが中国北部の**金**を滅ぼし，以後ヨーロッパ遠征も行い，ユーラシア大陸の東西にまたがる大帝国へ成長。

B　**元**

1271年，モンゴル帝国５代皇帝**フビライ**〔忽必烈〕が中国に**元**を建国，カラコルムから**大都**(現在の北京)に遷都し「世祖」となる。服属させた**高麗**を通じ日本にたびたび朝貢を要求するが，**８代執権北条時宗**は拒否。

☆高麗では**三別抄**が長く抵抗を示し，元の日本侵攻に大きな障害となった。

C　**文永の役(1274年)**

元・高麗連合軍約３万が対馬・壱岐を攻め**博多湾**に上陸。**集団戦法**や**火薬**〔**てつはう**〕により九州御家人を苦戦させるが，元軍も損害が大きく，内部対立もあり撤退した。

D　国防の強化

あ　九州北部の**異国警固番役**を**強化**(1275年)。

　　☆中国地方の長門警固番役を設置。

い　博多湾沿いに**防塁**〔**石塁・石築地**〕を構築。

　　☆御家人だけでなく本所一円地の武士(＝**非御家人**)をも動員。

う　九州から北陸にかけて守護を入れかえ，北条氏一門を配置。

E　**弘安の役(1281年)**

1279年に**南宋**を滅ぼし勢いづく元・高麗・南宋連合軍14万(**東路軍・江南軍**)が再度襲来するが，博多湾への上陸を阻まれている間に**暴風雨が起きて大損害を受け，再び撤退した。**

F　**警戒体制の維持**

非御家人も動員し，公家・寺社支配下の荘園・公領からも物資を徴発。

1293年には博多に**鎮西探題**を設置し，北条氏一門が就任した。

G　**元寇の影響**

あ　**幕府の支配力が強大化**

☆非御家人へも影響力を及ぼす。

い　**北条氏の強大化**

☆本家の当主である**得宗**（とくそう）の地位が強化される。

う　**「神風」**（かみかぜ）**による神国**（しんこく）**思想の広まり**

☆11世紀半ばから続く末法（まっぽう）思想から解放。

☆実質は幕府の統制の下に九州武士が奮戦したことが大きな勝利の要因。

え　**御家人の窮乏**（きゅうぼう）**と没落**

☆**恩賞の不十分**・警戒体制の維持により**惣領制の解体**が進行。

☆高麗や南宋の勢力，大越（だいえつ）〔ベトナム〕にも元への抵抗の動きが起こり，３度目の侵攻はなかった。

---

②得宗専制政治の確立

A　**北条氏の強大化**⇒全国の守護の半数以上を占める

北条氏嫡流(ちゃくりゅう)の当主である**得宗**が，独裁を開始。

☆得宗の私邸で開かれる**寄合(よりあい)**が最高会議となり，得宗の家人(けにん)である**御内人(みうちびと)**（筆頭＝**内管領(うちかんれい)**）と北条氏以外の外様(とざま)御家人の対立が激化。

B　**霜月(しもつき)騒動　（1285年）**

○９代執権北条貞時・**内管領平頼綱(たいらのよりつな)**vs**外様御家人安達泰盛(あだちやすもり)**●

C　平禅門(へいぜんもん)の乱（1293年）

○９代執権北条貞時vs内管領平頼綱〔平禅門〕●

☆のち長崎氏が内管領となり，得宗専制政治は全盛期を迎える。

---

③御家人の窮乏と惣領制の解体

A　**御家人の窮乏**

あ　**原因**

1　**元寇による多大な犠牲と出費，恩賞の不十分。**

☆元寇後も警戒体制は続く。

2　**分割相続の繰り返しによる所領の細分化**

3　貨幣経済の進展による生活の向上と出費の増大

い　窮乏化

1　**所領の質入れ・売却が一般化**

2　**幕府に対する信頼感の動揺**

☆北条氏の得宗専制政治に対する不満が増大。

う　対策⇒**永仁の徳政令(1297年，９代執権北条貞時)**

御家人の救済を目的としたが，**一時的効果のみに終わる。**

1　**御家人の所領売買・質入れの禁止**

2　**売却・質入れ済み所領の無償返還**

☆御家人相手の場合は，売却後20年以内のものに限定。

☆非御家人・凡下(庶民＝**借上**)相手の場合は，無期限。

3　越訴制度の廃止

4　金銀貸借訴訟の不受理

B　**惣領制の解体**

あ　分割相続から嫡子の**単独相続**へ

☆女子の相続は**一期分**が一般化し，**女性の地位は低下**。

い　血縁的結合から，利害関係によって結びつく**地縁的結合**に変化。

う　**悪党**(畿内を中心とした，**主君をもたない新興武士層**)の発生

え　守護などの有力武士の権力強化

お　**北条氏の得宗専制政治に対する不満が増大**

④幕府の衰退

A　**皇統の対立**

13世紀後半，**後嵯峨上皇**の２子が皇統や皇室領荘園の相続をめぐり対立。解決策として幕府が**両統迭立**(りょうとうてつりつ)を提示。以後，幕府は皇位継承に大きく介入(かいにゅう)することとなった。

あ　**持明院統**(じみょういんとう)

後深草天皇系，後白河上皇の**長講堂領を経済基盤**とする。

い　**大覚寺統**(だいかくじとう)

亀山天皇系，鳥羽上皇の**八条(女)院領を経済基盤**とする。

B　**文保(ぶんぽう)の和談**(**1317年**～18年)

幕府は以後の皇位継承に介入(かいにゅう)しないかわりに，**10年ごとの両統迭立**を強引に決定。しかし，両統ともに十分な合意に達せず，かえって反幕府感情が高まった。

C　**後醍醐天皇の親政**(1321年～)

1318年　持明院統の花園(はなぞの)天皇のあとをうけて，**大覚寺統から即位**。

☆宋学〔朱子学〕の大義名分論を信奉(しんぽう)，延喜(えんぎ)・天暦(てんりゃく)の治にならい天皇親政をめざす。

1321年　父である後宇多法皇の院政を停止，**記録所を再興**し親政を開始。

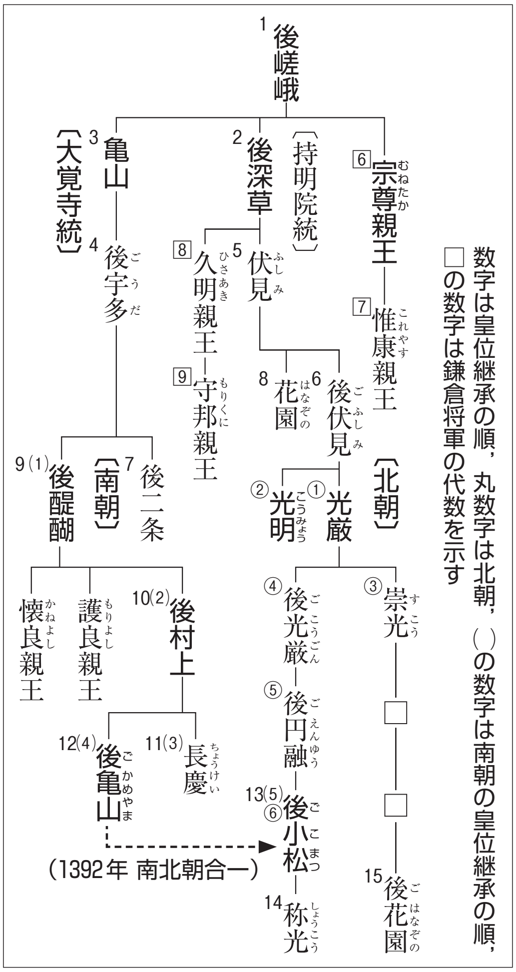
☆皇位継承の決定権を，幕府から取り戻すことをめざした。

D　**幕府支配の弱体化**

あ　**得宗専制政治への反発**

14代執権北条高時は田楽(でんがく)・闘犬にふけり，政治を委(ゆだ)ねられた**内管領長崎高資**(たかすけ)の専横と賄賂(わいろ)政治が，外様御家人の反発を招いた。

い　畿内周辺の新興武士(＝**悪党**)の新秩序要求運動


数字は皇位継承の順，丸数字は北朝，( )の数字は南朝の皇位継承の順，
□の数字は鎌倉将軍の代数を示す
1 後嵯峨
3 亀山
〔大覚寺統〕
2 後深草
〔持明院統〕
6 宗尊親王
4 後宇多
5 伏見
8 久明親王
7 惟康親王
9 守邦親王
8 花園
6 後伏見
〔北朝〕
9(1) 後醍醐
〔南朝〕
7 後二条
② 光明
① 光厳
懐良親王
護良親王
10(2) 後村上
④ 後光厳
③ 崇光
⑤ 後円融
12(4) 後亀山
11(3) 長慶
13(5)⑥ 後小松
(1392年 南北朝合一)
14 称光
15 後花園

天皇家略系図

２　鎌倉文化

①鎌倉文化の特色

A　公家の伝統文化を受け継ぎつつ，**武家や庶民に支持された公武二元文化**である。

B　公家から武家への政権の移行を認めざるをえない状況の中，**歴史意識の高まり**がみられる。

☆先例・伝統が重視される。

C　武家の時代を反映した，**素朴で力強い写実的な側面をもつ文化**。

D　禅宗や宋学〔朱子学〕など，**中国の南宋・元からの影響が強い**。

---

②鎌倉新仏教

A　新仏教成立の背景

あ　戦乱・飢饉・天災の頻発による社会不安と，末法到来の無常感。

い　旧仏教の腐敗と世俗化にともなう，**武士・庶民の救済要求。**

☆学問・祈禱中心から，**本格的な信仰**へと変化。

B　**新仏教の特徴**⇒仏教を武士・庶民にも開放。

あ　**易行**

☆旧仏教の求める困難な修行を必要としない。

い　**選択**

☆念仏・題目・坐禅のうちから救いの方法を一つ選ぶ。

う　**専修**

☆選んだ方法にひたすら打ち込む。

C　**浄土宗**（1175年～）

あ　開　　祖　**法然**（美作国出身）

い　特　　色　**浄土教系**

☆**念仏「南無阿弥陀仏」，他力本願。**

う　教　　義　**専修念仏**

☆13世紀初め，旧仏教側から迫害され土佐国に配流（＝承元の法難）。

え　著 作 物　**『選択本願念仏集』**

☆摂政・関白九条兼実の求めに応じて著したもの。

『一枚起請文』

お　信　　者　おもに京都周辺の公家・武士・庶民。

か　中心寺院　**知恩院（京都）**

D　**浄土真宗〔一向宗〕**（1224年～）

あ　開　　祖　**親鸞**（山城国出身）

い　特　　色　**浄土教系**

☆**念仏『南無阿弥陀仏』，他力本願。**

う　教　　義　一向専修念仏，絶対他力，自然法爾，**悪人正機説**，戒律を否定。

☆承元の法難に際し，師の法然に連坐して越後国に配流。

え　著作物　**『教行信証』**

☆のち弟子の**唯円**が**『歎異抄』**を著す。

お　信　　者　はじめ関東の常陸国，のち北陸・東海・近畿の下級武士・農民。

か　中心寺院　**東・西本願寺（京都）**

E　**時宗**（1276年～）

あ　開　　祖　**一遍〔遊行上人・捨聖〕**（伊予国出身）

い　特　　色　**浄土教系**

☆**念仏「南無阿弥陀仏」，他力本願。**

う　教　　義　遊行，賦算（＝念仏札を配る），**踊念仏**。

☆善人・悪人や信心の有無に関わりなく，念仏を唱えればすべての人が救われると説く。

え　著作物　死の直前に焼却。

☆門弟たちが『一遍上人語録』を編集。

お　信　　者　おもに地方武士・庶民・都市下層民などで，時衆とよばれる。

か　中心寺院　清浄光寺〔遊行寺〕（相模国）

F　**臨済宗**（1191年～，南宋から導入）

あ　開　　祖　**栄西**（備中国出身）

い　特　　色　**禅宗系**

☆**坐禅**，自力開悟。

う　教　　義　**坐禅・公案問答**〔禅問答〕。

え　著 作 物　『**興禅護国論**』『出家大綱』

『**喫茶養生記**』**（３代将軍実朝に茶の効用を説く）**

お　信　　者　おもに京都・鎌倉の公家・上級武士，地方の上級武士。

☆**鎌倉幕府の保護を受ける。**

か　中心寺院　**建仁寺**（**京都**，２代将軍頼家の援助）

寿福寺（鎌倉，北条政子の援助）

き　**渡 来 僧**　**蘭溪道隆**

☆南宋より来日後，京都から**５代執権北条時頼**が招き，鎌倉に**建長寺を開山**。

無学祖元

☆南宋から**８代執権北条時宗**が招き，鎌倉に**円覚寺を開山**。

G　**曹洞宗**（1227年～，南宋から導入）

あ　開　　祖　**道元**（山城国出身）

い　特　　色　**禅宗系**

☆**坐禅**，自力開悟。

う　教　　義　**只管打坐**，身心脱落。

え　著 作 物　『**正法眼蔵**』

☆弟子の懐奘が『正法眼蔵随聞記』を著す。

お　信　　者　北陸地方を中心とした地方武士・農民。

☆権力との癒着を否定，山中に籠る。

か　中心寺院　**永平寺（越前国）**

☆鎌倉後期に螢山紹瑾が総持寺（能登国，現在は横浜市）を開山。

H　**日蓮宗〔法華宗〕**（1253年〜）

あ　開　祖　**日蓮**（安房国出身）

い　特　色　**法華系**

☆**題目『南無妙法蓮華経』**。

う　教　義　**唱題**，折伏，**法華経至上主義**にもとづく他宗批判および政治批判。

☆四箇格言「念仏無間，禅天魔，真言亡国，律国賊」

え　著作物　**『立正安国論』**

☆**北条時頼に提出**，政治批判の罪で伊豆国に配流。

『開目鈔』『観心本尊鈔』

☆ともに佐渡国配流後に執筆。

お　信　者　おもに鎌倉・京都の武士・商工業者。

か　中心寺院　**久遠寺（甲斐国）**

---

③その他の宗教

A　**旧仏教の革新**⇒新仏教の興隆による反省

新仏教を批判，**戒律の尊重**を唱え社会事業も実施。

あ　**法相宗**

貞慶〔解脱〕

☆山城国笠置寺を中興，『興福寺奏状』を著し法然の専修念仏を攻撃。

い　**華厳宗**

明恵〔高弁〕

☆京都栂尾に高山寺を開山，『摧邪輪』を著し法然の専修念仏を攻撃。

う　**律宗**

俊芿

☆渡宋から帰国後，京都に泉涌寺を開山。天台・真言・禅・律が兼学できる道場とする。

叡尊〔思円〕

☆奈良の西大寺を再興，自伝『感身学生記』を著す。

☆蒙古襲来に際し異国調伏の祈禱を行い，「興正菩薩」とよばれる。

忍性〔良観〕

☆**奈良**に**北山十八間戸**を建て，らい病〔ハンセン病〕患者を救済。

☆のち鎌倉の極楽寺に入り，慈善事業につとめた。

B　**修験道**の隆盛

原始的山岳信仰と仏教の密教的信仰が融合した宗教で，天台宗・真言宗のもとに組織され発展した。

C　**伊勢神道**〔度会神道〕⇒元寇後

伊勢神宮外宮の神官**度会家行**が**神本仏迹説〔反本地垂迹説〕**を唱え，『神道五部書』を体系化。新たに**『類聚神祇本源』**を著す。

☆本地垂迹説を唱える山王一実神道（天台系），両部神道（真言系）と対立。

④建築

A　**和様**(わよう)

日本的な柔(やわ)らかな美しさ，平安時代以来の伝統的様式。

蓮華王院本堂(れんげおういん)〔**三十三間堂**(さんじゅうさんげんどう)〕(京都)，**石山寺多宝塔**(たほうとう)(近江国(おうみのくに))

B　**大仏様**(だいぶつよう)

大陸的な雄大さ・力強さ，南宋の様式を改良。

東大寺南大門(なんだいもん)(奈良)

☆奈良の諸寺の勧進上人(かんじんしょうにん)**重源**(ちょうげん)〔俊乗坊(しゅんじょうぼう)〕が，宋人**陳和卿**(ちんなけい)の協力を得て再建。

浄土寺浄土堂(播磨国)

C　**禅宗様**(ぜんしゅうよう)〔**唐様**(からよう)〕

☆細かな部材の組み合わせによる整然とした美，南宋から伝来。

円覚寺舎利殿(しゃりでん)(鎌倉)

D　**折衷様**(せっちゅうよう)

☆和様に大仏様や禅宗様を取り入れる。

観心寺金堂(かんしんじ)　(河内国(かわちのくに))

E　その他

武士の邸宅として，寝殿造(しんでんづくり)を簡素化した**館**(たち)が登場。

⑤彫刻（力強い写実性と躍動感に富む）

鎌倉初期の南都復興に際し，康慶を祖とする**慶派**の**奈良〔南都〕仏師**たちの活躍。

A　仏像彫刻

あ　**東大寺南大門金剛力士像**〔阿形像・吽形像〕**（運慶・快慶ら）**

い　**東大寺僧形八幡神像**　　**（快慶）**

う　**蓮華王院千手観音坐像**　**（湛慶）**

え　興福寺金剛力士像　　　（定慶？）

お　**興福寺天灯鬼・龍灯鬼像（康弁）**

か　高徳院阿弥陀如来像〔鎌倉大仏〕⇒鎌倉

B　肖像彫刻

あ　**興福寺無著・世親像**　　**（運慶ら）**

い　**六波羅蜜寺空也上人像**　**（康勝）**⇒京都

う　東大寺重源上人像

え　明月院上杉重房像　　　　　⇒鎌倉

⑥絵画（写実性に富む）

A　絵巻物

あ　合戦物

『後三年合戦絵巻』『平治物語絵巻』『**蒙古襲来絵巻**』（肥後国の御家人**竹崎季長**が描かせる）『**男衾三郎絵巻**』（東国の地方武士の生活を描く）など。

い　縁起物

『粉河寺縁起絵巻』『**北野天神縁起絵巻**』（菅原道真の伝記）『**春日権現験記**』（高階隆兼が描く）『**石山寺縁起絵巻**』など。

う　伝記物

『法然上人絵伝』，『**一遍上人絵伝**』（円伊が描く）『西行物語絵巻』『鑑真和上東征絵伝』など。

え　その他

『紫式部日記絵巻』など。

B　肖像画⇒個性に対する関心の高まり

あ　**似絵**（写実的な個人の記録的肖像画）

『**伝源頼朝像**』『**平重盛像**』？（ともに神護寺が所蔵，**藤原隆信**）

『**後鳥羽上皇像**』（水無瀬神宮〔摂津国〕が所蔵，**藤原信実**）

い　肖像画

『親鸞聖人像〔鏡御影〕』（西本願寺が所蔵，専阿弥）

『明恵上人樹上坐禅図』（高山寺が所蔵，成忍）⇒これは似絵ではない

う　**頂相**（禅僧が描かせた師の肖像画）

C　その他

地獄草紙，病草紙，餓鬼草紙など。

⑦書道

伏見天皇の皇子**尊円入道親王**〔**尊円法親王**〕が，和様に宋の書風を加味した**青蓮院流**を創始。代表作『**鷹巣帖**』。

---

⑧工芸

A　武器・武具

あ　**刀剣**

藤四郎吉光〔粟田口吉光〕(**京都**)，**正宗**〔岡崎正宗〕(**鎌倉**)，**長光**〔長船長光〕(**備前国**)など。

い　**甲冑**

明珍

B　**陶器**

道元に従い入宋した**加藤景正**が**瀬戸焼**(**尾張国**)を創始？

☆その他に常滑焼(尾張国)，信楽焼(近江国)，備前焼(備前国)などが隆盛。

---

⑨文芸

A　和歌集

あ　**新古今和歌集(1205年，後鳥羽上皇)**

1980首を20巻に収める**勅撰和歌集**で，**八代集**の最後。体言止め・本歌取りなどの技巧的な表現，観念的な美の境地は**新古今調**とされる。**藤原定家**・藤原家隆らが編纂。

い　**山家集**　　　**(西行)**

う　**金槐和歌集**　**(源実朝，万葉調の作風)**

え　小倉百人一首(藤原定家)

拾遺愚草　　　(　〃　)

☆藤原定家は歌論『近代秀歌』も著す。

B　説話集

あ　発心集　　　(鴨長明)

い　**宇治拾遺物語**

☆『今昔物語集』の補完。

う　十訓抄

え　**古今著聞集**(橘成季)

お　**沙石集**　　(**無住〔無住一円〕，仏教説話集**)

C　**随筆**⇒隠者文学の双璧

あ　**方丈記**　　(**鴨長明**)

☆鎌倉初期の作，鴨長明は歌論『無名抄』も著す。

い　**徒然草**　　(**兼好法師〔卜部兼好・吉田兼好〕**)

☆鎌倉末〜南北朝期の作。

D　紀行文⇒幕府開設にともなう京・鎌倉間の往来

あ　東関紀行　(源親行？)

い　海道記

う　**十六夜日記**(**阿仏尼**)

☆実子と継子の所領裁判のため，京から鎌倉へ赴く旅日記。

E　日記

あ　**玉葉**　(**九条兼実**)

い　明月記(藤原定家)

F　**軍記物語**⇒和漢混淆文の隆盛

あ　保元物語

い　平治物語

う　**平家物語**(信濃前司行長？)

☆桓武平氏の興亡を主題とした傑作。**琵琶法師**により**平曲**として語られたことにより，文字を読めない人々にも親しまれた。

え　源平盛衰記

☆平家物語の異本。

⑩歴史

A　**水鏡**

B　**愚管抄（慈円⇒摂政・関白九条兼実の弟，天台座主）**

☆**末法思想**が全編を貫く**最古の歴史哲学書**。歴史を「**道理**」の展開ととらえ，**後鳥羽上皇の討幕計画への諫言とした。**

C　百錬鈔

☆冷泉～後深草天皇を編年体で記す歴史書。

D　**吾妻鏡**〔東鑑〕

☆**鎌倉幕府の歴史**を編年体で漢文**日記体**に記す。執権北条氏の立場を擁護する傾向が著しい。

E　**元亨釈書（虎関師錬）**

☆元から渡来した一山一寧の日本人の弟子が著した，**わが国初の仏教史書**。

---

⑪学問・思想

A　古典研究

あ　**万葉集註釈（仙覚）**

い　**釈日本紀　（卜部兼方）**

☆わが国初の『日本書紀』注釈書。

B　**有職故実**

朝廷の儀式・年中行事・先例を研究。

あ　世俗浅深秘抄（後鳥羽天皇）

い　**禁秘抄　　　（順徳天皇）**

C　**図書館**

金沢文庫　（北条〔金沢〕実時）

☆武蔵国称名寺の境内にある，**初の武家による私設図書館**。

D　**宋学〔朱子学〕**の伝来

南宋の**朱熹**が始めたもの。君臣の別を説く**大義名分論**は，後醍醐天皇の討幕運動の理論的支柱となった。

〈*Note*〉

第８講　確認問題

1　1234年，モンゴル帝国２代皇帝オゴタイに滅ぼされた王朝は？

①遼〔契丹〕　②金　③南宋　④高麗

2　初の蒙古襲来〔元寇〕であった，1274年の戦いを何というか？

①文永の役　②弘安の役　③文禄の役　④慶長の役

3　２の戦いで元・高麗連合軍が上陸しなかった場所を一つ選べ。

①対馬　②壱岐　③博多湾　④隠岐

4　1285年の霜月騒動で安達泰盛を滅ぼしたが，1293年に９代執権北条貞時に滅ぼされた内管領とは？

①竹崎季長　②平頼綱　③長崎高資　④北条時行

5　1297年の「永仁の徳政令」では，売却・質入れ済み所領の無償返還が規定されたが，御家人相手の場合，売却後何年以内のものに限られたか？

①１年　②６年　③20年　④50年

6　持明院統と大覚寺統という皇統の対立の原因となった，院内に評定衆を設置したことでも有名な上皇とは？

①後白河上皇　②後鳥羽上皇　③後嵯峨上皇　④光厳上皇

7　執権北条氏本家の当主を，とくに何といったか？

①氏の長者　②棟梁　③得宗　④公方

8　鎌倉新仏教の特徴としてあてはまらないものを一つ選べ。

①即身成仏　②易行　③選択　④専修

9　次のうち，念仏宗(＝他力本願系)ではない宗派を一つ選べ。

①浄土宗　②浄土真宗　③時宗　④日蓮宗〔法華宗〕

10　京都栂尾に高山寺を開山，『摧邪輪』を著し法然の専修念仏を攻撃した華厳宗の僧とは？

①貞慶〔解脱〕　②明恵〔高弁〕　③叡尊〔思円〕　④忍性〔良観〕

11　次のうち，禅宗様〔唐様〕の建築物を一つ選べ。

①蓮華王院本堂〔三十三間堂〕　②石山寺多宝塔
③東大寺南大門　④円覚寺舎利殿

12　『新古今和歌集』の編纂を命じた人物とは？

①後白河上皇　②後鳥羽上皇　③後嵯峨上皇　④後醍醐天皇

解答

1	②	2	①	3	④	4	②	5	③
6	③	7	③	8	①	9	④	10	②
11	④	12	②						